

みずほCustomer Desk Report 2024/02/29号 (As of 2024/02/28)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	150.48
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.51	1.0841	163.18	1.2681	0.6545
SYD-NY High	150.85	1.0845	163.40	1.2684	0.6549
SYD-NY Low	150.37	1.0797	162.76	1.2622	0.6488
NY 5:00 PM	150.70	1.0839	163.32	1.2661	0.6495
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,949.02	▲ 23.39	日本2年債	0.1600%	▲0.0100%
NASDAQ	15,947.74	▲ 87.56	日本10年債	0.7000%	0.0100%
S&P	5,069.76	▲ 8.42	米国2年債	4.6426%	▲0.0497%
日経平均	39,208.03	▲ 31.49	米国5年債	4.2623%	▲0.0483%
TOPIX	2,674.95	▲ 3.51	米国10年債	4.2649%	▲0.0374%
シカゴ日経先物	39,050.00	▲ 245.00	独10年債	2.4605%	0.0055%
ロンドンFT	7,624.98	▲ 58.04	英10年債	4.1815%	▲0.0130%
DAX	17,601.22	44.73	豪10年債	4.1780%	0.0290%
ハンセン指数	16,536.85	▲ 253.95	USDJPY 1M Vol	7.71%	0.18%
上海総合	2,957.85	▲ 57.63	USDJPY 3M Vol	7.81%	0.11%
NY金	2,042.70	▲ 1.40	USDJPY 6M Vol	8.14%	0.06%
WTI	78.54	▲ 0.33	USDJPY 1M 25RR	▲1.16%	Yen Call Over
CRB指数	275.27	▲ 1.22	EURJPY 3M Vol	7.35%	0.01%
ドルインデックス	103.98	0.15	EURJPY 6M Vol	7.88%	0.03%

【昨日の指標等】

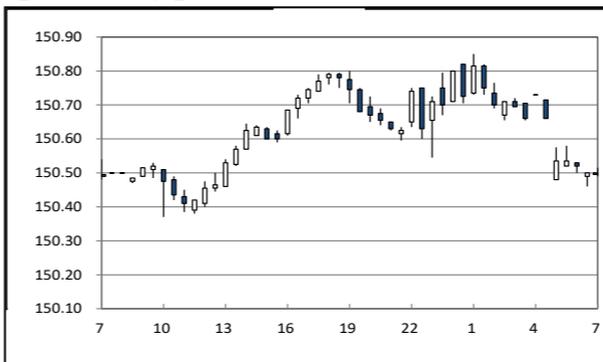
Date	Time	Event	結果	予想
2月28日	22:30	米 GDP(年率/前期比)・改定値	4Q S 3.2%	3.3%
	22:30	米 個人消費・改定値	4Q S 3.0%	2.7%

【本日の予定】

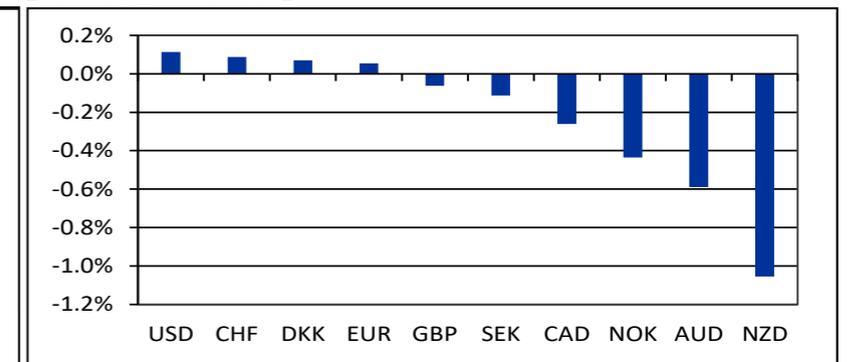
Date	Time	Event	予想	前回
2月29日	10:30	日 高田日銀審議員 講演	-	-
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	1月 0.3%/2.4%	0.2%/2.6%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	2月24日 210k	201k
3月1日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 1.5%	8.3%
	00:50	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	01:00	米 グールズビー・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	03:15	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は150.51レベルでオープン。月末の売りフローも入って午前中はやや値を下げ、一時150.37をつける。ただ流れが一服すると、豪1月月次CPIの下振れを受けたAUDやRBNZの政策金利据え置きを受けたNZDを中心としたドル買いがサポートとなり、150円台半ばまでじりじりと値を戻し、150.60レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.60レベルでオープン。材料難で動意薄。150.60-80円で推移し150.74円でNYに渡った。欧州株もまちまちで方向感が出にくかった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。軟調な展開を見せていた日本株が反転上昇する展開や、米金利が戻す展開を背景に、150.80まで上昇。その後は伸び悩み、150.74レベルでNYオープン。朝方に発表された米第4四半期GDPが予想を下回り、発表直後はドル売りで反応し、150.55まで下落。しかし、その後は構成項目の個人消費が予想を上回っている事が意識されてか、徐々にドルが買い戻され、150.85まで値を上げる。その後は買い一巡となり、150.60付近まで反落。午後は複数のFRB高官が現状の政策金利を長く維持すると思わせる発言が伝わるも、ドル円は反応薄。その後は150.70近辺で動意乏しい推移が続き、150.70でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独金利が低下する展開を横目に、じり安での推移が続き、1.08台を割り込み、1.0797まで下落。その後は下げ渋り、小幅反発し1.0809でNYオープン。午前中は低下していた独金利が上昇する動きに追随し、1.0845まで反発。午後は米金利が低水準で推移する動きがサポートとなり、高値圏の1.0840近辺での小動き後、1.0839でクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.80-151.30	1.0780-1.0900	162.50-164.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は引き続き150円台で横ばい圏での推移となった。発表された米第4四半期GDPが市場予想を下回ったものの、構成項目の個人消費が予想を上回ったことで一時150.85まで上昇した。本日のドル円は月末のフローに振られる展開を予想する。特に東京時間は仲値にかけては実需筋の外貨買いフローが相応に入ると予想する。また、海外時間には米1月PCEデフレターの発表を控えている。前年同月比での鈍化が確認されれば、市場予想通りの結果であっても5月の米利下げ開始期待が再燃しドル売りの流れとなる。ただし、市場は前月比加速すると予想しており、先日発表された米1月CPI結果と同様に市場予想比上振れした場合はドル円は今年の高値を意識した値動きとなる。また、本邦では高田日銀審議員発言が予定されており、金融政策についての発言があるか注目したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山口・范